

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年11月15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・より多くの個室を確保できることが理想ではあるが、時間帯を調整することでスペースを有効活用できている。 ・十分な部屋数ではないが、時間帯と場所を工夫して集団や個別の活動ができている。 2部屋あるので、その日の子どもの様子や支援内容に応じて、部屋の使用ができるため、適切だと思います。 ・相談室が相談室として使用できないことがあるため、苦しいことがあります。 ・建物の設備の関係で部屋のスペースに限りがあるが、職員間で話し合いがなされ、療育室の使い方について話し合いがなされ、子ども達が安心して過ごせるように工夫がなされている。 部屋数は少ないですが、時間を前後させて集団・個別の活動をすることができています。	・スペースの活用、危険の回避について、継続して検討、改善していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	・人員配置について確認が必要な場合は新潟市に確認するなど、徹底されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・障害特性に応じて視覚的な提示や工夫が専門的になされている。 ・建物の設備の関係で、階段等急なところがあるが、そのような場所は危険のないよう最大限の配慮がなされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・建物の設備の関係で難しい部分があるが、乳児のおむつ替えなどには適していない。部屋を分けるなど工夫がなされている。 ・毎朝職員全員で掃除を行っている。 ・朝礼後に毎回清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	こどもの特性に応じて個室を利用するとともに、必要に応じて対応する職員を増やし、過ごしやすい環境を提供している。 子どもの特性に応じて、職員間で声を出し合いながら部屋の使用ができていていると思います。他のお子さんとの兼ね合いで個別で部屋を使用したい子ができない時もあります。 ・建物の設備の関係で部屋数に限りがあるが、パーテーションで区切ったり、障害特性に合わせて部屋割を工夫して使うなど、配慮がなされている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		・個に応じた支援を心掛け実践しているが、さらに効率のよい情報共有の仕方、研修、会議や話し合いのやり方を検討、改善し、職員の資質向上に努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・昨年度に開所し、今年で1年目ということで現在実施中。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・疑問に思ったことや意見などを職員同士で話しやすい関係だと思っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	未実施	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・たくさんの研修案内を用意していただいています。しかし、時間の確保が難しくなかなか参加ができません。 ・難聴児の関わりや愛着障害をお持ちのお子さんへの対応方法についての内部研修が行われた。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・HPにて公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・標準化されたツールでのアセスメントが今後の課題である。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・職員全員で話し合いがなされている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・日々担当の職員が変わるので、様々な支援内容ができていていると思います。 ・ひとりひとりに合わせた活動プログラムがなされている。 ・担当の職員が日々変わるため、様々な支援内容ができていていると思います。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・お子さんに合わせて個別活動と集団活動が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・担当者会議がなされ、支援が始まる前に支援内容について確認が行われている。	

	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6	・打ち合わせ時間の確保はできていないが、記録を共有することで支援の振り返り等を行っている。 ・当日には時間的余裕がないので、記録等に記述したり、翌日に気付いた点などについて意見交換をしたりして共有している。 ・気になったことや聞きたいことはその場にいた職員に確認したり共有したりしています。職員全体で振り返りをする時間を確保することは難しいですが、振り返ることで新たな気づきができたり次の支援につながっていくと思うので、できる機会があるといいなと思います。 ・営業時間の関係で、その日行われた支援の振り返りを話し合う事はできないが、ケア記録や申し送りノートを活用し、支援の振り返りがなされている。 ・カンファレンスがなされている。 ・当日は時間に余裕がないことが多いので、Hugや申し送りノート等の記録に記述をしたり、翌日に気付いた点などについて意見交換をしたりして共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・子どもの気になる行動や関わりがあった場合はケア記録や申し送りノートにて情報を残すようにしている。 ・その日の支援をHug上で記録に残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	・地域交流が今後の課題となる。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・お子さんによっては、いくつかの選択肢を設け、その中で順番を決めて活動をしています。また、『代弁』『パス』等のカードを用いて、自分で発表ができない時に選択できるような工夫をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		・まだ、就学前からの継続した利用がないため、そのような機会がない。 ・必要に応じて行っている。 ・よつば学園と情報共有が丁寧になされている。 ・昨年度、開所の事業所ということもあり、就学時の移行支援は未実施。今年度から実施予定。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			・まだその様なケースは発生していない。 ・新設事業所のため今後行う予定である。 - 未実施 ・昨年度、開所の事業所ということもあり、障害福祉サービス事業所等への移行支援は未実施。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・元医療福祉大学の職員にスーパーバイズとして、助言や研修をしていただく機会が設けられている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・個人情報も考慮して、事業所内等での活動による交流はもっていないが、公民館などの地域資源の利用は行っている。	・地域参加、地域貢献について、できることを整理検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・お会いすることができない保護者の方や、Hugを見ていない保護者の方へのアクションができればいいと思います。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・事業所内でベアトレの機会を設け、情報提供を行っている。	・家族が参加する行事等について、検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。			・保護者会等は今後の課題である。 - 未実施	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 回っているか。		1	・個人情報の観点から、事業所内等での活動による交流はもっていないが、公民館などの地域資源の 利用は行っている ・地域に対する取組は今後の課題である。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発 生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認して いるか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が されているか。	6	1	・事前にアレルギーの有無を調査し、おやつやお弁当を持参していただくことで対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計 画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検 討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし ているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決 定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後 等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		